


乳房手術を受ける方へ

患者氏名()

主治医()

担当看護師()

| | 1日前(月 日) | 手術当日(月 日) | | 1日後 (月 日) | 2日後 (月 日) | 3日後 (月 日) |
|------|--|---|---|---|--|---|
| | | 術前 | 術後 | | | |
| 達成目標 | 手術の必要性を理解し、手術の準備ができる。 | 精神的、身体的に安定した状態で手術に望むことができる | ①全身状態が安定している ②創痛のコントロールが出来る ③出血がない | ①全身状態が安定している ②創痛のコントロールが出来る ③出血がない | ①創痛のコントロールが出来る ②術後出血がなく、ドレーンを抜去する事ができる ③乳房を見る事ができる | 退院後の注意点が理解でき、不安なく退院する事ができる |
| 薬剤 | 持参薬がある方は看護師に渡して下さい。 | | 夕食後より鎮痛剤を内服していただきます | 痛みが続くようであれば鎮痛剤を追加しますので我慢せずお伝え下さい | | |
| 注射 | | 手術前から点滴を行います | 手術後点滴を2本行い、終了後針を抜きます。 | 点滴はありません | | |
| 検査処置 | センチネルリンパ節生検を受けられる方は乳輪に注射をし、RI検査を行います。(祝日入院の方は手術当日に行います) 必要時、手術部位の除毛を行います。 <u>手術1週間前から脇の除毛は控えて下さい。</u> | | 酸素・心電図・血圧計フットポンプを装着し、傷の状態を観察します。 | 傷の状態を観察します | 傷の状態を確認し、管を抜きます。 |  |
| 安静度 | 制限はありません | 制限はありません | 手術直後はベット上です | 腕をあげるのは90度までにしましょう。出来るだけ動くようにしましょう。 | 傷の管が抜ければ日常生活動作の制限はありません。 | |
| 食事水分 | 食事は夕食迄です 24時から絶飲食です | 絶飲食です | 腸の動きを確認後、飲水が可能です。夕食より食事が可能です。 | 制限はありません。 バランスのとれた食生活を心がけましょう。 | | |
| 留置物 | | 点滴の針を留置します | 傷のところに管が入っています。尿管が入っていますが、歩行が出来るようになれば抜きます。 | 傷のところに管が入っています。ひっぱれないように注意して下さい。 | | |
| 清潔 | シャワー浴をしましょう | | | 上半身はタオルで拭きます。下半身はシャワー浴可能です。 | 管を抜いた後はシャワー浴ができます。傷は石けんの泡でやさしく洗い、清潔にしましょう。 | |
| 観察 | 全身の状態を確認します | 検温を行います | 検温を適宜行います | 検温を適宜行います | | |
| 教育説明 | <u>必要物品：診察券・手術承諾書</u> <u>前あきパジャマ パスタオル3枚</u> <u>(必要な方は(前あき)ノンワイヤーの下着)</u> <u>マニキュア・ジェルネイル・指輪等のアクセサリーは入院までに外して下さい。</u> ・麻酔科医より麻酔の説明があります。(祝日入院の方は事前に麻酔科受診があります) ・腕周囲のサイズを測ります。 | 眼鏡・腕時計・義歯・指輪など金属は外して下さい。手術室はパジャマで行きます。(ブラジャーは外して下さい) 手術中ご家族はデイルーム又は病室でお待ちください。 | 痛みがある時など何かあれば看護師にお伝え下さい | リハビリスタッフよりリハビリ体操の説明があります。 退院指導の用紙をお渡しし用紙にそって指導を行います。 傷の管が抜ければ日常生活動作の制限はありません。 1~2週間を目安に、手術前の肩の動きまでリハビリしましょう。 基本10時までの退院になります。 | | |

個々の状態により変更する事がありますのでご了承下さい。なおご不明な点がありましたら遠慮なくスタッフにご相談下さい。

上記について説明を受けました 年 月 日

本人又は家人署名:

説明者署名:

